

所沢市子ども・子育て会議  
(平成30年度第2回)

会 議 録

平成30年10月16日

|           |  |
|-----------|--|
| 会議の名称     | 所沢市子ども・子育て会議（平成30年度第2回）  |
| 開催日時      | 平成30年10月16日（火）<br>午後2時00分から午後3時00分まで   |
| 開催場所      | こどもと福祉の未来館 多目的室3・4号  |
| 出席者の氏名    | （会議録別表1）のとおり   |
| 欠席者の氏名    | （会議録別表1）のとおり   |
| 説明者の職・氏名  |  |
| 議 題       | 議事<br>(1) 教育・保育施設等の利用定員等について<br>(2) アンケート調査票案について<br>(3) その他   |
| 会 議 資 料   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料1： 教育・保育施設等の利用定員等について</li> <li>・ 資料2-1： アンケート調査実施要領</li> <li>・ 資料2-2： アンケート調査票案（就学前児童用）</li> <li>・ 資料2-3： 行政区早見表</li> <li>・ 資料2-4： 教育・保育事業一覧</li> <li>・ 資料2-5： 調査票比較表</li> <li>・ 追加資料1： アンケート調査票案に対する意見一覧表</li> </ul> |
| 担 当 部 課 名 | <p>本田こども未来部長<br/>町田こども未来部次長<br/>こども政策課：並木参事、瀧澤主幹、森本主査、肥沼主査、<br/>中島主事、西川主事<br/>こども支援課：市來課長<br/>こども福祉課：小川課長<br/>青少年課：森田課長<br/>保育幼稚園課：小山課長<br/>（事務局）こども未来部こども政策課 電話 04-2998-9415</p>  |

(会議録別表1)

## 所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

|    | 氏名     | 出欠席状況 | 選出母体等              |
|----|--------|-------|--------------------|
| 1  | 豊泉 尚美  | 出席    | 学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学 |
| 2  | 市川 奈緒子 | 欠席    | 学校法人 白梅学園 白梅学園大学   |
| 3  | 西川 達男  | 出席    | 埼玉県所沢児童相談所         |
| 4  | 横須賀 邦子 | 欠席    | 所沢市立小中学校校長会        |
| 5  | 三上 明男  | 出席    | 所沢市民生委員・児童委員連合会    |
| 6  | 上野 勝久  | 出席    | 所沢市PTA連合会          |
| 7  | 小沢 貞泰  | 出席    | 所沢市放課後児童対策協議会      |
| 8  | 藤澤 拓也  | 欠席    | 所沢市私立幼稚園協会         |
| 9  | 喜多濃 定人 | 欠席    | 埼玉県保育協議会           |
| 10 | 藺田 公斗  | 出席    | 地域型保育事業運営団体        |
| 11 | 小松 君恵  | 出席    | 地域子育て支援拠点事業運営団体    |
| 12 | 水野 良司  | 出席    | 放課後児童健全育成事業運営団体    |
| 13 | 森田 純子  | 出席    | 所沢商工会議所            |
| 14 | 渡辺 良雄  | 出席    | 所沢地区労働組合協議会        |
| 15 | 當眞 昭子  | 出席    | 子ども・子育て支援関係者       |
| 16 | 渡邊 雄太  | 出席    | 市民公募               |
| 17 | 大橋 ちづる | 出席    | 市民公募               |
| 18 | 島田 桂子  | 出席    | 市民公募               |
| 19 | 中村 好恵  | 出席    | 市民公募               |
| 20 | 関 順子   | 出席    | 市民公募               |

| 発 言 者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等）  |
|-------|--|
| 事務局   | <p>～ 開 会 ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会議成立報告</li> <li>■ 会長あいさつ</li> </ul> <p>議事に入る前に、資料の確認と本日の会議の流れを説明させていただきます。</p> <p>（資料の確認）</p> <p>事前の配布資料としまして、</p> <p>会議次第</p> <p>委員名簿</p> <p>資料１：教育・保育施設等の利用定員等について</p> <p>資料２－１：アンケート調査実施要領</p> <p>資料２－２：アンケート調査票案（就学前児童用）</p> <p>資料２－３：行政区早見表</p> <p>資料２－４：教育・保育事業一覧表</p> <p>資料２－５：調査票比較表</p> <p>差替資料としまして、机上に配布させていただいている</p> <p>【差替版】資料２－２：アンケート調査票案（就学前児童用）</p> <p>【差替版】資料２－３：行政区早見表</p> <p>【差替版】資料２－４：教育・保育事業一覧表</p> <p>【差替版】資料２－５：調査票比較表</p> <p>追加資料としまして</p> <p>【追加資料１】：アンケート調査票案に対する意見一覧表<br/>がございます。</p> <p>なお、本日お配りした差替版と追加資料につきましては、資料の左上に資料番号を附番しております。</p> <p>皆様、お手元におそろいでしょうか。</p> |
| 事務局   | <p>次に、本日の会議の流れでございますが、</p> <p>はじめに、議題１として「教育・保育施設等の利用定員等について」、</p> <p>議題２として「アンケート調査票案について」事務局からご説明を行い、それぞれの議題について皆様からご意見をいただきたいと思いま</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>す。</p> <p>なお、本日は、会議終了後にこども支援センターの施設見学の時間を設けておりますため、会議時間は午後3時半までを予定しております。施設見学は、自由参加となりますが、せっかくの機会ですので、お時間がございましたら、ぜひご参加ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 傍聴確認</li> <li>■ 傍聴2名</li> </ul>   |
| 会長  | <p>本日の流れについては、先程の事務局からの説明のとおりです。</p> <p>それでは議題1の「教育・保育施設等の利用定員等について」事務局より説明をお願いします。</p>  |
| 事務局 | <p>～事務局より資料1に基づき説明～</p>  |
| 会長  | <p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p>  |
| 委員  | <p>資料1の4ページ、平成31年度に向けた利用定員数の変更についてお伺いします。1、2歳児の待機児童が多いということで、この年齢の利用定員が増えていますが、この見立てで来年度、待機児童が解消できると考えているのかお伺いします。</p> <p>また、現状では、保育園の入園申請者の約3分の1から4分の1の方が、1回目の利用調整で不承諾通知をもらっています。このような方が相当数いるということは、なかなか希望した施設に入ることができないという状況があると考えられます。こうした点を踏まえ、もう少し抜本的に見方を変えていかないと、不承諾通知をもらった方々が、大変な思いをし、それが繰り返されてしまいます。この点についても事務局の考えをお聞きします。</p> |
| 事務局 | <p>1点目の、今回の利用定員の増加によって来年度の待機児童が解消するのかというご質問についてお答えします。</p> <p>ここ数年におきまして、待機児童は低年齢児に集中している状況ですので、今回の小規模保育事業所の利用定員の増加によって、来年度</p>  |

|            |   |
|------------|---|
|            | <p>は対応できると考えております。</p> <p>続いて、2点目のご質問についてお答えします。</p> <p>平成30年4月の入所状況でご説明しますと、平成30年2月に1次の利用調整の結果を発送しまして、その際に入所保留の通知をお渡ししたのが529通になります。この中には、すでに保育園に在園している方が提出した転園申請に対する保留通知も含まれております。入所保留というのは、1次の利用調整の結果、保護者の方が希望した保育園には入れなかったということになります。しかし、この後、保育の必要性の高い方から順次、定員に空きがある保育園をお電話等でご案内し、マッチングを行っております。その結果、入所が決まった方もいらっしゃいまして、最終的な待機児童の数としては、先ほど説明で申し上げた19人ということになります。保護者の方が希望した施設に入所できているかという点については、入所保留の通知を見ると希望に沿っていない状況はありますが、順次保護者の方と保育園のマッチングを進めていくことで、入所ができていく状況もございます。よって、先ほど申し上げた入所保留の通知の数がそのまま入所できていない方の数ということではないことをご理解いただきたいと思います。</p> |
| <p>会長</p>  | <p>他にご意見はございませんか。ないようでしたら、次の議題に移ります。それでは、議題2「アンケート調査票案について」事務局から説明をお願いいたします。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>～事務局より資料2-1、差替版資料2-2～2-5、追加資料1について説明～</p>  |
| <p>会長</p>  | <p>ただ今の事務局の説明のとおり、調査票案については、委員の皆様からの詳細なご意見をもとに可能な範囲で修正を加え、回答する方々にできる限りわかりやすくなっております。まずは調査票案の調査項目1～5について、さらにご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>確認させていただきます。先ほどの説明の中で、国や県から指定された設問があるとありましたが、具体的にどの設問がそれに該当するのかわかりませんでした。ほかの市町村や前回の調査と比較するとい</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>うことになりまして、変更することができない設問があると思います<br/>が、その設問がどれに当たるのかお伺いします。</p> <p>今回の調査票につきましては、ほぼ国からのたたき台をもとに作成<br/>しておりますので、国との共通設問といいますとほぼ全てということ<br/>になります。反対に、市の独自設問については、例えば問37「今後、<br/>子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。」などがあり<br/>ます。こちらに関しましては、所沢市の今後の施策の判断材料とする<br/>ために、市民の皆様からのご意見を伺うということを目的として、所<br/>沢市が独自で設定をしております。</p> |
| 会長  | <p>ほかにご意見がないようでしたら、調査項目6～11に移りたいと<br/>思います。それでは事務局から説明をお願いします。</p>  |
| 事務局 | <p>～事務局より調査項目6～11について説明～</p>  |
| 会長  | <p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございま<br/>したらお願いします。</p>  |
| 委員  | <p>問37についてお伺いします。追加資料1の「アンケート調査票案<br/>に対する意見一覧表」に委員からの意見で選択肢9「ひとり親家庭の<br/>自立支援については①「経済的支援（児童扶養手当）＋②就学援助と<br/>いう概念が一般的かと思われます。」とありますが、必要なのは就労<br/>支援ではないでしょうか。こちらは「就労援助」の誤字ではないかと<br/>思われます。</p>  |
| 事務局 | <p>事務局では、いただいたご意見内容は、就学援助のことを指してい<br/>ると判断していたしましたので、選択肢3「経済的支援事業」追加してい<br/>ました。ただいまのご意見を踏まえ、選択肢11「ひとり親家庭等の<br/>自立支援の推進」の具体例の一つとして「就労支援」を追加いたしま<br/>す。</p>  |
| 会長  | <p>事前に、委員の皆様アンケート調査の設問についてご意見を伺っ<br/>ておりますので、ほぼ集約されているとは思いますが、ほかにご意見、</p>   |

|            |   |
|------------|---|
| <p>委員</p>  | <p>ご質問がございましたらお願いいたします。</p> <p>アンケート調査全体について伺います。アンケート調査自体がかなりの分量があり、回答するのがとても大変だと思います。実際に小さいお子さんの世話をしながら、回答する時間を捻出するというのは、私の経験上大変だと思います。</p> <p>調査対象が就学前児童保護者2,500世帯とありますが、この内何%の保護者の方が回答すると見込んでいるのかについて伺います。</p> <p>また、就学前児童保護者2,500世帯というのは、0～5歳を均等に配分しているのか、低年齢層の数を多くして配分しているのか伺います。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>まず、回収率についてお答えします。5年前に実施したアンケート調査では、就学前児童が58%、小学生が55.9%、合算で57.2%の回収率でしたので、今回は60%程度の回収率を想定しております。また、回収率向上のために調査期間の後半には調査対象者全員にお礼状兼督促状の配布を予定しております。</p> <p>続いて、無作為抽出で抽出する世帯の割合についてお答えします。特に低年齢層の数を多くするというのではなく、年齢ごとに均等にどの行政区にも調査票が行き渡るよう考えております。</p>  |
| <p>会長</p>  | <p>回収率がとても高いですね。それだけアンケート調査結果を施策に反映してほしいという回答者の思いがあると思いますので、このアンケート調査を有効に活用していきたいですね。</p>   |
| <p>委員</p>  | <p>問30についてお伺いします。子育て支援に関するアンケートということであれば、親子のふれあいについて回数で計るのは違うのではないかと思います。この設問も国や県からのたたき台をもとにして作成していると思うので、変更は難しいと思います。しかし、もし変更が可能であれば、親子のふれあいについて回数を聞くのではなく、両親が現状の子どもとの関わり方で満足しているか、といった気持ちの部分聞いたほうがこれからの子育て支援に繋がるのではないかと思います。例えば、「ほぼ毎日ある」と答えた方でも、ただ義務的に子どもと接している場合もありますので、「週に1回」でも、満足し</p> |



|     |   |
|-----|---|
|     | <p>ているかどうかを答えていただいたほうが、今後の子育て支援に役立つと思いますし、保護者の方が何を欲しているのかを見極めることができると思います。それは、回数で判断するのではなく、仕事と家庭を両立するお母さんの気持ちの部分聞いてほしいと思いました。</p> <p>また、私自身このアンケートに回答してみて、何が知りたいのだろうという違和感を覚えました。このアンケート調査を実施することによって所沢市だけでなく、他の市町村を含めた統計をとることを目的としているのか、子育て支援に活用したいのかが分かりませんでした。このアンケート調査を本当に子育て支援に活用したいのであれば、対象者を無作為に選出する必要はないと思います。回収率が60%程度とおっしゃっていましたが、本当に支援を必要としている人の声を聴くためには、保育園や幼稚園ごとに調査を実施し、無作為ではなく回答したいと思っている保護者に回答してもらうほうが今後の子育て支援が早くよい方向に進むと思います。</p> |
| 事務局 | <p>まず、1点目についてお答えします。問30の趣旨は、子育て支援というよりも、子どもの貧困という観点から、親が子どもとどういった関わりを持っているか、状況を把握したいというものであります。よって、この設問は、ご質問の趣旨とは違う趣旨で設定していることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>続いて、2点目の保育園や幼稚園などの施設を利用している方にアンケートを実施してはどうかというご意見についてお答えします。そういったアンケート調査の実施方法もあるとは理解していますが、所沢市では保育園や幼稚園等の施設を利用しないで、ご家庭で子育てをされている方もいらっしゃいます。そのような方々も含め、所沢市全体の状況を把握するために、無作為抽出という方法を採用しております。</p>   |
| 会長  | <p>ほかにご意見がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。それでは、事務局から議題3「その他」について説明をお願いします。</p>  |
| 事務局 | <p>議題2については、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。こちらの調査票案の確定版につきましては、後日郵送でお</p>  |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>続いて、議題3についてですが、次回子ども・子育て会議の日程についてご連絡させていただきます。次回子ども・子育て会議の開催日は、2月5日（火）午後を予定しております。詳細は決まり次第、通知させていただきますのでよろしくお願いいたします。以上です。</p>     |
| <p>会長</p>  | <p>次回子ども・子育て会議の会場はどこになりますか。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>回りの会議は、所沢市役所の会議室を予定しております。</p>  |
| <p>会長</p>  | <p>以上で本日の議事はすべて終了いたしましたので、事務局にお返しします。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>ありがとうございました。本日いただいたご意見を踏まえまして、アンケート調査を実施して、来年の計画策定につなげていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、西川副会長よりご挨拶をいただきますと思います。</p> <p>■ 副会長挨拶</p> <p>～閉 会～</p> |